

第 66 期

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 8 番 16 号

公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 66 期（平成 30 年度）事業報告書

1. 事業概況

2019 年 4 月いっぱいをもって「平成」は終わりを告げ、5 月から新たに「令和」がスタートした。30 年続いた「平成」の時代には、その字面とは裏腹に天変地異レベルの災害が相次いで発生したが、中でも平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災とこれによって引き起こされた福島第一原子力発電所の事故は、新しい時代に大きなツケを残すこととなった。

わが国の景気は、長期にわたり緩やかな回復基調を維持しているとされてきた。しかし、昨年来続く米中貿易摩擦で両国の追加関税の応酬がエスカレートしてきていることなどにより世界的に景気減速への懸念が強まり、直近の景況感を下押している。再燃しつつある北朝鮮の不穏な動向、英国の EU 離脱問題、欧州各国における政情不安、米国とイランの関係等 国際情勢においても予断を許さない状況が続くものと見られる。

平成 30 年 4 月に実施された診療報酬・介護報酬のダブル改定は、人口減少等わが国が抱える構造的問題に対応するため地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・相互連携を推進し、さらには医療従事者の過重労働軽減等「働き方改革」への対応までも企図したものであったが、その内容は病院経営に想像以上の厳しい影響を及ぼしている。

本年 10 月には消費税率の引き上げが行われ、これに対応した診療報酬の一部改定も予定されているが、消費税増税による社会保障費財源確保の実現性や控除対象外消費税の取り扱い等は医療機関の経営に直結するため、その行方が注視される。

国は「地域医療構想」の参考データとするため、2025 年に医療圏ごと必要とされる病床数を病床機能別に推計し、発表している。それは何ら拘束力や強制力を有しないという建前であったが、都道府県に病床機能転換命令権限が付与され、今後さらに地域別の診療報酬制定が議論されていく可能性もあることから、病院の再編・統合と淘汰は避けられない状況にある。

厳しさを増す一方の経営環境の中、当法人にとって生き残りをかけた経営改善が急務となっている。

2. 部門別事業報告

(1) 法人本部

経済情勢の変化等によって休止となっていた「郡山駅前一丁目第二地区市街地再開発事業」について、昨年夏、大手住宅デベロッパーからの事業再開提案を受け、新たな補助金制度の要件を充足し事業を再開すべく、行政との協議を含めた検討を開始している。

人事関係では、平成 29 年に寿泉堂総合病院と寿泉堂クリニックで試行開始した出勤システム（タイムカード）を正式に稼働させ、運用の徹底と時間管理の充実に努めた。また、人事考課制度について、BSC（バランスド・スコアカード）の 4 つの視点から部

署・チームごとに目標を設定し、目標の達成度を重視した評価を実施するための検討・協議を進めており、令和3年度からの運用開始に向けて準備中である。

経理関係では、医療費のクレジット決済の拡充、コンビニ収納の導入、訪問看護ステーションにおける利用料の銀行自動振替による収納の導入、弁護士事務所との契約による未入金回収等の効率化を進めた。

費用削減に向けては、寿泉堂総合病院の診療材料購入費を圧縮するためのプロジェクト（ローコストオペレーション）に参画し、変動費の圧縮に努めた。

また、資金調達について、メインバンク以外数行との間に短期資金調達のための借越枠を設定した。

(2) 寿泉堂総合病院

本年度は、「地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化・連携の推進」を重点課題として入院医療評価体系が抜本的に見直され、診療報酬改定が行われた年であった。急性期病院として従来の「7対1入院基本料」に相当する「急性期一般入院料1」の施設基準を維持すべく努め、7月に開催された地域医療構想調整会議で現在の急性期病院機能を維持していくことについて了承を得た。

【入院患者数】

延患者数は84,940人で、平均在院日数が0.3日短縮（1日当たりの患者数5人減に相当）したなかで前年度比1,054名・1.3%の増加となった。重症患者の割合を示す「重症度、医療・看護必要度」は年度平均で29.1%となり、「入院料1」の届出要件25%を充たした。

【外来患者数】

患者総数は138,637人で、前年度に比し1,776名・1.3%減少したが、初診紹介患者総数、初診患者総数については前年度とほぼ同数であった。病診連携の強化、予約外患者への柔軟な対応を課題として推進してきた結果、ここ数年、外来患者数の減少幅は小さくなっている。

【救急搬送件数】

総数2,772件で前年度比プラス10件となり、296件と大幅に増加した前年と同水準を確保維持した。急性期病院の生命線と認識して救急患者の積極的受け入れに取り組んでいる結果として評価している。入院率は44.1%と前年度より1.4%のアップ、新入院患者に対し占める比率は前年度と同じ16.9%であった。

【診療単価】

入院単価は58,759円となった。全身麻酔適用の手術件数の増加を主な要因として、前年度比588円・1.0%アップした。外来単価は14,754円となり、776円・5.6%のアップとなった。主な要因としては、がん化学療法対象患者数の増加、高額薬剤使用患者数の増加が挙げられる。

【医業収支】

上記により医業収益は前年度より219百万円・3.1%増収となったが、医業費用も薬

品費、人件費等の増加を主なものとし、前年度より 113 百万円増加した。その結果、当期利益は、前年度より 96 百万円改善したものの 109 百万円の赤字となり、償却前利益は、減価償却が進んだことにより前年度比 39 百万増益の 308 百万円にとどまった。

【経営基盤の安定・強化】

まず、医療安全面においては、引き続き医療安全室・感染対策室を中心に、各種委員会・研修会の開催等、医療の質の確保、事故防止に努めたところである。

経営・医療の質を向上させる取組みとして、5 月に JHQC（日本版医療 MB 賞クオリティクラブ）の訪問審査を受審し、東北圏医療機関初の「A クラス認証」を取得した。また、3 月には病院機能評価の更新審査を受審した。これらの準備段階で、診療体制やマニュアル等の見直し、クリニカルパス、QI 等のベンチマーク活用による医療の標準化、効率化、透明化を推進、医療 BSC（バランスド・スコアカード）の定着化等、医療機能の充実と強化に努めた。

8 月には、診療報酬の改定を受けて立ち上げた入退院支援室が中心となり、3 階フロアに入退院サポートカウンターを設置し、入院前から退院までシームレスに患者を支援する体制を整備・強化するとともに、入退院にともなう業務の集約化・効率化を図った。

医療材料費の圧縮に関しては、前年度に引き続き外部コンサルの協力を得て削減に努め、一定の成果を得た。

9 月からは、職域、職場ごとに J Café を開催し、現場スタッフが茶菓を楽しみながら経営陣と談笑する機会を設け、経営や診療さらには職場問題や待遇・手当等に関する提案や意見に耳を傾け、職員満足度を向上させるため職場環境の改善に着手した。

医師・看護師をはじめとする人材確保にあつては、前年度 1 名減員となった外科で復活、初期臨床研修医の医科 6 人、歯科 1 人の枠を今年も充足し、院内の活性化につながっている。今後も引き続き麻酔科医師等の充実にむけて努力していく。看護師の採用にあつても、二交替勤務制の定着やワークライフバランスへの取り組み等、種々の努力により、離職率の低下、必要とする人員の維持がなされている。

(3) 寿泉堂香久山病院

平成 30 年度は、6 年に 1 度の医療・介護報酬の同時改定後のスタートとなった。

医療報酬は、全体改定率 1.19%のマイナス改定となったが、当院関連項目では「回復期リハビリテーション病棟入院料」が回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリのアウトカム評価推進の観点から、①基本的な医療の評価部分、②診療実績に応じた段階的な評価部分、の 2 つの評価を組み合わせた評価体系に再編・統合されたことにより、入院料は 2,065 点から 2,085 点にアップし、回復期リハビリテーション病棟の入院単価は 1 日当たり 200 円の増収となった。

介護報酬は、今まで経過措置とされていた介護療養型医療施設の廃止期限が令和 5 年 3 月までと決定され、介護医療院制度が新たに導入された。

介護医療院は、生活支援を重視する点で従来の介護療養型医療施設とは異なり、入居者にとって医療や介護だけでなく、生活の場を提供し入居者が安心して暮らせる「住ま

い」となるようプライバシーの確保などに努め、看取りを支える役割も担う「在宅扱い」の施設である。当院では、介護医療院への早期移行加算による増収（約 17 百万円と試算）が期待できることから、平成 31 年度中の転換に向けて福島県・郡山市と協議を重ね、平成 30 年 11 月開催の県中地域医療構想調整会議に諮問し、了承を得た。平成 30 年度は転換スケジュールを作成し、院内周知を図ってきた。

また、介護医療院転換にともない医療許可病床数が 250 床から 199 床に減床することにより、地域包括ケア病床（20 床程度）の導入が可能となるため、地域ニーズに応え、増患・増収効果も見込まれることから、介護医療院開設との同時スタートを目標に平成 31 年 1 月より院長以下各部署責任者による地域包括ケア病床開設準備委員会を組成し、導入に向けた体制を整えている。

患者数実績は、入院・外来とも前年比・予算比ともに若干下回る結果となった。入院は、平成 29 年度の 1 日平均患者数 200.4 名に対し平成 30 年度は 198.2 名で約 2 名の減少であった。31 年度は、よりいっそう病院機能の拡充及び医療の質向上に取り組み、患者数増加につなげ予算達成を目指したい。

病院運営面では、増加し続ける材料費の抑制や院内の在庫管理を目的として、6 月に SPD（Supply, Processing & Distribution）システムを導入した。病院における医療材料や医療用消耗品の購入に関する発注・院内物流・定数管理などの業務を委託し、徹底した在庫管理を実施することにより、過剰在庫や期限切れ製品の把握と防止ができ、購入価格の抑制や過剰在庫の削減などにもつながった。

また、平成 13 年より取り組んでいる ISO9001（品質マネジメントシステム）並びに ISO14001（環境マネジメントシステム）の 2015 年度版への規格改正にともない、より効果的なマネジメントシステムを構築するため ISO9001 及び ISO14001 のマネジメントマニュアルを統合し、整備に職員一丸となって取り組み、平成 30 年 4 月に規格改正にともなう 1 次審査、6 月に 2 次審査に臨み、ISO2015 年版の認証取得が完了した。

今後も引き続き継続的に業務内容の改善を図り、顧客満足度の向上及び環境改善に努め、統合されたマネジメントマニュアルを活用した PDCA サイクルによる運営基盤を構築し、新しい事業に向けた手順の見直しを行い、寿泉堂香久山病院の特色を最大限活かせるよう取り組みたい。

(4) 寿泉堂クリニック (透析センター)

平成 30 年度は「多用途透析監視装置」9 台を計画的に更新したことで、49 台すべてがセントラル方式による透析液供給体制となった。最新の透析装置に更新したことによりオンライン HDF（血液ろ過透析）の実施率が向上し、前年比+16.3%、年度平均 73.3% に上昇した。これにより小分子蛋白質などの除去効率が向上し、より水分バランスの良い透析医療を提供できた。

延べ患者数は 19,612 名と前年比-1,530 名・9.5%減少、診療単価は 1,080 円・3.5%増加することができたが、収入総額は過去最高であった前年度より-45 百万円・6.5%

減少の 629 百万円となった。

(健診センター)

昨年度更新した健診システムが 2 年目となり運用が軌道に乗ったことにより、予約業務の効率化が進んでいる。また、検査結果の判定精度も向上した。人間ドック健診者への当日結果説明は 100%実施し、うち保健指導は 14.7%の受診者へ実施し、生活習慣病の予防・改善に取り組んだ。

健診受診者数は公立学校・郡山市健診者の増加により前年比 370 名・2.3%増加した。乳がん検診の視触診がオプション検査となったことにより健診単価が減少したが、収入総額は 7 百万円・1.9%増加し、単価減少分を受診者増加でカバーしたことにより総額は 372 百万円超となり、一昨年に続く過去 2 番目の高収入となった。

(クリニック総括)

ここ数年高齢の透析患者の死亡が多く実患者数がピーク時より 30 名程度減少しているため透析センターは苦戦している状況だが、寿泉堂香久山病院透析室の稼働率が徐々に向上し、グループ三施設それぞれの特色を生かした透析治療を実施できた。また、防犯対策として防犯カメラを設置したことが、祝日を含めた不審者侵入の抑止力となっている。

寿泉堂クリニック全体の医業収益額は 1,001 百万円で、前年度比-3.7%・38 百万円の減収となった。また光熱費や設備関係費の削減に努めた結果、減価償却前利益は 287 百万円・前年比-21.0%・76 百万円の減益となったが、対医業収益利益率は 28.7%を達成することができた。

(5) いずみ訪問看護ステーション

平成 30 年度は地域の関連機関との連携をさらに密にするとともに、中重度、終末期にある療養者に 24 時間切れ目ない看護が提供できることを目指し事業を行った。本年度は「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂にともない、看取りに関する内容が地域の研修でも盛んに取り上げられるようになっている。同ガイドラインに基づき看取り同意書やパンフレットの見直しなども検討し、地域医療関連の外部研修への参加は目標とした 30 回を超え達成することができた。

訪問看護サービスの提供については新規利用者の開拓に向け、居宅支援事業所との連携を強化するとともに、セーフティーネットとなる観点から困難事例についても積極的に受け入れを行った。地域包括ケアシステムについては、地域の事情を直に把握し即戦力になることを目標に、職員全員が地域ケア会議に参加することができた。

受託事業であるグループホームとの医療連携については、施設内感染や事故、感染症の流行など緊急事態発生に関する対応はなく、予防的ケアとスタッフ支援を行った。また、医療連携をスムーズに行うには、他職種理解が重要となるため、年に 2 回の研修会と、看護と介護の共同研究を実施した。得られた効果や課題については引き続き検証し、利用者の安全な環境作りと健康維持に協力していく。

本年度の年間総訪問件数は前年比-345 件の 3,880 件で、その内訳は介護 2,980 件、

医療 900 件であった。利用者総数は 120 人であり、新規紹介数とともに微増している。利用者数に対し訪問件数が減少している原因については、以下のように検証する。

- ① 利用期間の短期化（短期間看取りの増加）
- ② 入所、入院件数の増加（施設数増加により入所、入院がしやすくなっていることも一因と考えられる。）
- ③ 短期入所利用期間の延長

医療介護報酬が同時改定され算定項目にも変更があったため、請求においては慎重かつ誤りのない請求を目指した。各加算算定については、目標の看護体制強化加算を通年算定することができたことにより、利用者単価は微増した。

職員の異動など環境的な要因により、新規受け入れの中断とサービスの自主点検、整備を行なった。その結果、利用者に不利益を与えることなく業務遂行できたことは職員個々の努力によるものと感謝している。次年度は職員の健康と安全が守られることをさらに目指し、労働安全衛生ガイドラインに基づいて運営していきたい。

(6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

特定事業所としての責任を果たし、地域の期待に応えるように、法令遵守と適正管理に努め、質の評価と特定事業所集中減算に注意し、減算回避を行うことができた。

ケアプラン作成件数は、産休等による職員の減少により前年度の 1,756 件から 1,662 件に減少した。4 名のケアマネージャで稼働したが、1 人当たりの受け持ち件数に制限があるため、新規受け入れが厳しい状況であった。10 月に 1 名増員となったため、徐々に新規受け入れを開始した。電話や来所での相談件数は 12,619 件であったが、その中で代行申請や新規でつながったのは 59 件である。

介護度別では要介護 1 が一番多く、全体の 36%、要介護 2 は 30%、要介護 3 は 17%、要介護 4 は 13%、要介護 5 は 4%であった。在宅での家族関係、価値観などの影響により、介護度が高くなるにつれて入院、入所する傾向が強くなり、また、病院が在宅へと促しても、家族や本人はホスピス病棟を望むケースが増えている。そのような状況のなかで看取りケースの依頼もあり、要介護 3 以上の利用者受け入れに努力した。

認定調査については 114 件と、前年度より 27 件増えた。介護認定の有効期間が 2 年の延長となり、2 年目の更新時期に該当したためと思われる。

実習受け入れについては、ポラリス保健看護学院 3 年次 3 クールの受け入れと、看護協会からの訪問看護人材育成研修を前年同様に受け入れた。

介護支援専門員実務研修受け入れについては、ケアマネージャ合格率が 10.1%と過去最低になったなか、福島県の合格者は 972 人受験して 74 人であった。合格者が少ないため、同行実習依頼は少ないかと思っていたが、2 名の実習希望があり主任ケアマネージャが実習を担当した。実習依頼がなかった居宅支援事業所もあるなかで 2 名の希望者がいたことは、日ごろから堅実に業務に当たってきたことの成果と考える。

他病院との連携については、退院調整ルールができてから各病院に担当窓口が設置され、よりスムーズに行えるようになった。おかげで入院時の情報連携加算が取れている

が、退院時については各病院からの連絡がないため、病棟での退院に向けたカンファレンスに参加できず、加算が取れていない状況である。ケアマネージャと病院の合同会議の中で、退院時のカンファレンスに参加できるように働きかけているが、主治医の時間調整がつかないことが、どの病院でも課題となっている。

30年度の特定制業所の加算要件では他法人の事例検討会が義務化されたため、太田西の内病院居宅介護支援事業所と合同での事例検討会を開催した。相互の事例の振り返りと気づきが共有できて有益であった。他にブロック研修会と主任ケアマネージャの会でも事例検討会を行い、事例提供者とスーパーバイザの役割を行う事ができた。次年度も継続していきたい。

(7) 郡山南部地域包括支援センター

担当地区の高齢者数は平成30年1月1日現在で6,106人、高齢化率は24.6%であった。前年度比で高齢者数は158人増加、高齢化率は0.6%増加した。

総合相談件数は5,158件で、前年比で327件減少した。相談内容は介護保険や医療保険に関することが多く、その両方に共通して認知症に関することが多かった。医療機関や認知症初期集中支援チームをはじめ、多機関と連携したケースが多かった。また介護保険申請やサービス導入まで時間を要するケースや、生活困窮状態や障害を抱えている利用者や家族など多機関との連携が必要で、支援が長期化することも多かった。

要支援者・事業対象者のケアプラン作成件数は2,773件で、前年比177件減少した。ケアプランは年々増加傾向にあったが、地域の通いの場やボランティアなど社会資源が活用できるようになったことが、減少の一因と考えられる。

高齢者実態把握事業の「おたっしや長寿アンケート（旧基本チェックリスト）」未回収者の安否確認は382件中、民生委員等の協力もあり365件の確認ができた。安否不明者については民生委員等と連携し対応した。100%の安否確認ができるようにしていきたい。

今年度も地域包括ケアシステムの深化、推進を目指し行政や医療、介護、福祉、地域関係機関との連携を図り、認知症施策の推進や地域活動に力を注いだ。

介護予防教室は年9回実施し、延べ566名の参加があった。内容は介護予防全般や運動器機能向上、認知症予防など、地域からの要望に合わせて対応した。

地域ケア会議（圏域会議）では、地域住民から「まだ認知症に対する偏見がある。認知症の対応（声かけ）への不安がある」との課題が出た。その対策として「平成30年度 認知症高齢者SOS見守りネットワーク『認知症高齢者声かけ訓練』」を郡山市と合同で10月18日に久留米・名倉地区で実施した。町内会や社会福祉協議会、民生委員、老人会など地域の各団体より88名の参加があった。声かけ方法の訓練やQRコードの読み取り訓練、久留米交番の協力を得て警察署への通報訓練も実施した。実施後に見えてきた課題を受けて「郡山市認知症高齢者身元確認QRコード事業」の普及・啓発に力を注いだ。

地域ケア会議（個別会議）は7回実施した。困難事例、多問題事例などのケース検討

を行い、行政を含めた多機関、多職種での課題解決に取組み、介護支援専門員への支援を行った。

生活支援体制整備事業として支部社協単位で第2層協議体を設置する取り組みをしており、生活支援コーディネーターと協働している。久留米支部、名倉支部で協議体を立ち上げ、活動を開始した。菜根支部でも地区説明会等を開始し、三中地区、橘地区でも地域の会議などに参加し地域包括ケアについて説明した。

地域包括支援センター協議会の部会・委員会活動や研修会等にも積極的に参加し、情報共有や自己研鑽に取り組んだ。今後も高齢者の総合相談窓口としての機能を発揮し、地域包括ケアの一端を担っていきたい。

3. 収 支 報 告

上に述べてきたような事業経過の結果、公益財団法人湯浅報恩会の平成30年度医業収益総額は10,117百万円となり、前年度に対して157百万円・1.6%増加した。これに対する医業費用総額は10,267百万円で、前年度比144百万円・1.4%の増加となった。

部門別事業報告に記載したとおり、寿泉堂総合病院では、予算値に届かなかったものの医業収益が前年度を219百万円上回ったが、寿泉堂香久山病院は入院患者数が前年実績・予算値を下回ったことから、医業収益も減収となった。寿泉堂クリニックにおいても、透析患者の減少による影響が大きく、診療単価で前年実績・予算値を上回ったものの、医業収益総額は前年実績・予算値をともに下回った。

今期、前年度に対する法人全体での医業費用増加額は医業収益の増加額を下回ったが、これは減価償却費の減少による部分が大きく、現金拠出をともなう費用である人件費、材料費、業務委託費を合計した増加額が165百万円に達し、実質利益を圧縮した。

以上の結果、経常外増減額を合算した当期一般正味財産増減額は-149百万円となり、前年度の（寿泉堂香久山病院の病棟新築工事にとともなう特別費用577百万円を除いた）一般正味財産増減額-156百万円と比較すると収支はわずかに改善されたものの、残念ながら3期連続での赤字決算となった。減価償却前一般正味財産増減額は519百万円・医業収益比5.1%で、目標とした10%に届かなかった。

次年度、当法人が赤字から脱却するためには、予実管理を精緻に行うなかで経費、とりわけ材料費をさらに圧縮することによって寿泉堂総合病院単体での（一般正味財産増減額）黒字確保を目指すこと、あわせて、寿泉堂香久山病院を単体黒字へと復調させることが不可欠である。

4. 役 員 会 報 告

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

(1) 理 事 会

① 定 時

開催日 平成 30 年 6 月 11 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告・決算報告について
- ・ 第 2 号議案 会計監査人の報酬について
- ・ 第 3 号議案 定時評議員会の招集について

報告事項

- ・ 関連施設の現況報告について

② 定 時

開催日 平成 31 年 3 月 27 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 31 年度事業計画・収支予算案について
- ・ 第 2 号議案 平成 31 年度借入限度額設定について

報告事項

- ・ 平成 30 年度決算見通しについて
- ・ 郡山駅前 1 丁目第 2 地区市街地再開発事業の状況報告について

(2) 評 議 員 会

① 定 時

開催日 平成 30 年 6 月 27 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告・決算報告について
監査報告について

報告事項

- ・ 関連施設の現況報告について

(3) 業務監査・会計監査に関する会議

① 平成 29 年度第 65 期会計監査人監査報告

開催日 平成 30 年 6 月 6 日

内容 決算報告書に関する監査

② 平成 29 年度第 65 期監事監査

開催日 平成 30 年 6 月 6 日

内容 業務監査及び会計監査

③ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 30 年 9 月 13 日

内容 監査法人による監査計画についての説明

④ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 31 年 3 月 22 日

内容 監査法人による決算に向けての検討事項の把握

(4) その他

常勤理事による財団運営会議を毎月第 1 週に開催した。

5. 診 療 報 告

(1) 平成 30 年度の患者数等は、次の通りである。

(患者数)

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合 計	
	名	前年比	名	前年比	名	前年比	名	前年比
外来患者総数	138,637	98.7%	11,892	108.4%	19,883	90.7%	170,412	98.3%
一日平均	473.2	99.4%	40.6	109.1%	63.8	91.0%	577.6	99.0%
新患者数	14,788	98.9%	318	86.9%	225	112.5%	15,331	98.8%
入院患者総数	84,940	101.3%	72,344	98.9%			157,284	100.2%
一日平均	232.7	101.3%	198.2	98.9%			430.9	100.2%
新入院患者数	7,252	103.6%	461	97.1%			7,713	103.2%
退院患者数	7,259	103.5%	464	98.9%			7,723	103.2%
病 床 数	305	100.0%	250	100.0%			555	100.0%

(救急患者数及び救急車による受入件数)

	平成 30 年度	平成 29 年度	増減	前年比
入院	1,587 名	1,492 名	95 名	106.4%
外来	6,624 名	6,619 名	5 名	100.1%
救急車搬送件数	2,782 件	2,772 件	10 件	100.4%

(人間ドック及び各種健診受診者数)

健診内容	平成 30 年度	平成 29 年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	72 名	84 名	85.7%
日本病院会指定による一日人間ドック	3,606 名	3,560 名	101.3%
全国健康保険協会による生活習慣病予防健診	3,072 名	2,919 名	105.2%
一般事業所健診	7,138 名	7,200 名	99.1%
郡山市住民健診	1,901 名	1,723 名	110.3%
個人健診	352 名	285 名	123.5%
ストレスチェック	1,027 名	968 名	106.1%
計	17,168 名	16,739 名	102.6%

特定保健指導	27 名	43 名	62.8%
保健栄養指導	543 名	606 名	89.6%

(いずみ訪問看護ステーション)

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年比
利用者延人数	670 名	710 名	94.4%
訪問延件数	3,880 回	4,215 回	92.1%
新規利用者数	38 名	31 名	122.6%

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年比
ケアプラン作成件数	1,662 件	1,756 件	94.7%
認定調査件数	114 件	87 件	131.0%

(郡山南部指定介護予防支援事業所)

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,773 件	2,950 件	94.0%

(2) 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

(法人事務局)

財務システム

(寿泉堂総合病院)

手術ナビゲーションシステム
 補助循環用バルーンポンプ 駆動装置
 歯科用ドリルシステム
 除細動器 2 台
 ビデオシステムセンター
 耳鼻咽喉科診療ユニット
 耳鼻咽喉科内視鏡システム
 保育器

過酸化水素ガス滅菌装置
 硬性鏡固定器
 超音波画像診断装置 2 台
 内視鏡用 4K モニター55 型
 人工呼吸器
 自動浸透圧分析装置
 分娩監視装置
 開放型保育器

(寿泉堂香久山病院)

体内成分分析装置
 コードレスバイク
 物流管理システム

介護支援ロボット (マッスルスーツ)
 膀胱用超音波画像診断装置
 アンダーカウンター洗浄機

(寿泉堂クリニック)

透析用監視装置 9 台
 解析付心電計
 便潜血自動分析装置

A 粉末溶解装置
 一般 X 線撮影装置
 眼底検査システム

(いずみ訪問看護ステーション)

介護システム

(郡山南部地域包括支援センター)

介護システム

訪問用軽自動車

6. 公益事業報告

(1) 救急医療活動

- ① 救急医療に対し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。
- ② 救急告示病院として、全日救急患者受け入れに対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間外の取扱患者数は、次の通りである。

	平成30年度	平成29年度	増減	前年比
入院（担当日）	1,115名	1,012名	103名	110.2%
入院（年度内総人数）	1,587名	1,492名	95名	106.4%
外来（担当日）	5,965名	5,908名	57名	101.0%
外来（年度内総人数）	6,624名	6,619名	5名	100.1%
救急車搬送件数（担当日）	1,620件	1,650件	△30件	98.2%
救急車搬送件数（年度内総件数）	2,782件	2,772件	10件	100.4%

- ③ 郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

平成30年度の奨学生は、次の通りである。

福島県立医科大学看護学部	1名
東北福祉大学健康科学部保健看護学科	1名
群馬医療福祉大学看護学科	1名
国際医療福祉大学保健医療学部看護学科	1名
国際医療看護福祉大学校	1名
群馬パース大学保健科学部看護学科	1名
新潟医療福祉大学健康科学部看護学科	1名
晃陽看護栄養専門学校	1名
福島県立総合衛生学院看護学科	1名
太田看護専門学校	6名
松村看護専門学校	1名
公立岩瀬病院附属看護学院	1名
国立病院機構福島附属看護学校	1名
福島看護専門学校	1名

(3) 公衆衛生協力事業

- ① 郡山市内小中学校6校の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに3才児健診を実施した。

- ② 産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。
- ・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施
(6事業所 従業員総数 1,638名)
 - ・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (4事業所 年間 52回)
 - ・保健師による健康相談・保健指導を事業所にて開催
(1事業所 年間 12回)
- ③ 厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。
- ④ エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。
- ⑤ 周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。
- ⑥ 出産を控えた患者と家族を対象として、毎週土曜日に「パパママクラス」を開催した。
- ⑦ 献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血バスへの医師派遣を毎月 1 回ないし 2 回実施した。
- ⑧ 乳がん検診啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2018」を共同開催した。
- ⑨ 社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。
- ⑩ 郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年比
相談業務	5,158 名	5,485 名	94.0%
基本チェックリスト未回収者の実態把握	365 件	281 件	129.9%
介護予防教室	9 回	15 回	60.0%
認知症サポーター養成講座	— 回	3 回	—
認知症施策関連事業	3 回	— 回	—
生活支援体制整備関連事業	11 回	— 回	—
地域ケア会議	10 回	7 回	142.9%

- ⑪ 地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

(寿泉堂総合病院)

平成 30 年 5 月 11 日	「看護の日」イベント 骨密度測定等各種測定及び看護、その他各種相談	167 名参加
7 月 26 日	寿泉堂健康教室 「看護外来はじめました」	15 名参加
9 月 6 日	救急の日イベント AED 講習会、救急蘇生・応急手当 (成人及び小児)	15 名参加
10 月 29 日	寿泉堂健康教室 「手洗い、感染対策について」	5 名参加
平成 31 年 3 月 27 日	寿泉堂健康教室 「転倒予防」～いつまでも普通の生活を～	5 名参加

(寿泉堂香久山病院)

平成 30 年	5 月 26 日	県中回復期リハビリ病棟 4 病院協議会 市民公開講座 各医療機関より 200 名参加
	6 月 2 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 習字・体操
	6 月 9 日	小原田地区・小原田集会所にて「いきいきサロン」 習字・体操
	6 月 16 日	香久池地区・山崎集会所にて「いきいきサロン」 習字・体操
	8 月 23 日	家庭医学講座 「コアトレーニングで腰痛予防」
	10 月 6 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 しおり作り・嚥下体操
	10 月 13 日	小原田地区・小原田集会所にて「いきいきサロン」 しおり作り・嚥下体操
	10 月 20 日	香久池地区・山崎集会所にて「いきいきサロン」 しおり作り・嚥下体操
平成 31 年	2 月 21 日	家庭医学講座 「指の運動と脳科学」

(寿泉堂クリニック)

平成 30 年	11 月 27 日	透析患者勉強会 「わが国の慢性透析療法の現状、フレイル・サルコペニア、運動療法について」 37 名参加
---------	-----------	---

⑫ 地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

(医学講座)

平成 30 年	7 月 4 日	第 43 回寿泉堂病院公開医学講座 演題「切らずに治す！！～最新の放射線治療～」 講師 福島県立医科大学医学部放射線腫瘍学講座 主任教授 鈴木義行先生
	11 月 13 日	第 44 回寿泉堂病院公開医学講座 演題「肝疾患診療の進歩」 講師 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 主任教授 大平弘正先生

(症例懇話会)

平成 30 年	10 月 18 日	歯科口腔外科	・小児に発生した顎骨中心性の顎放線菌症の 1 例 ・骨髄異形成症候群症例における多数歯抜歯 参加人数 51 名
	11 月 8 日	産婦人科	・当院における悪性腫瘍の取り組み ・軟骨無形成症妊婦の管理経験 参加人数 31 名
	12 月 12 日	寿泉堂忘年懇話会	参加人数 203 名

- ⑬ 地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。
(寿泉堂総合病院)

平成 30 年 10 月 24 日	感染対策委員会研修会 「冬に流行するウィルス疾患について&個人防護具着脱・手洗い」	22 名参加
-------------------	--	--------

- ⑭ 地域の健康増進、各種行事等へのスタッフ派遣に協力した。

平成 30 年 4 月 29 日	郡山シティーマラソン 救護班	看護師 3 名
5 月 26 日	まちなか子ども夢駅伝 救護班	看護師 2 名
5 月 27 日	看護の日・フェスタ	看護師 1 名
5 月 29 日	看護師のクリニカルラダーと施設内教育 講師 (~30 日、9 月 20 日)	看護師 1 名
6 月 4 日	みんなで話そうー看護の出前授業ー 講師 田村市立船引南中学校	看護師 1 名
6 月 5 日	足といのちを救う会 講師	看護師 1 名
6 月 26 日	福島県介護予防支援従事者研修 講師	主任ケアマネ 1 名
7 月 22 日	スーパーゼビオ 3×3Game 救護班 (8 月 5 日)	看護師 2 名
7 月 25 日	郡山市少年団体中級指導者研修会 救護班 (~26 日)	看護師 1 名
7 月 25 日	郡山市地域包括支援センター初任者研修 講師	主任ケアマネ 1 名
7 月 27 日	郡山ビール祭り 救護班	看護師 1 名
8 月 3 日	郡山うねめ祭り 救護班 (~4 日)	看護師 2 名
8 月 9 日	郡山女子大学短期大学音楽科集中講座 講師 終末期医療概論	緩和ケア認定看護師 1 名
8 月 11 日	福島県少年野球選手権 救護班 (~13 日)	看護師 5 名
8 月 14 日	福島県立総合衛生学院分娩介助学内演習 指導者	助産師 1 名
8 月 18 日	まちの保健室 (9 月 30 日、11 月 15 日)	保健師 1 名
9 月 5 日	主任介護支援専門員研修 講師 (~7 日)	主任ケアマネ 1 名

9月26日	グループホームすぶりんぐ施設研修 講師 (2月28日)	訪問看護師2名
10月6日	看護師のための緩和ケア研修会 講師 (~7日、 3月2日)	緩和ケア認定看護師1名
10月14日	乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山」	看護師1名
11月8日	福島県がん看護臨床実務研修 講師	看護師1名
11月15日	福島県介護支援専門員再研修、更新研修会 講師	主任ケアマネ1名
11月17日	看護師の働き方フォーラム 講師	看護師1名
11月24日	平成30年度福島県がん看護研修 講師	緩和ケア認定看護師1名
12月8日	福島県看護協会 新人助産師交流会 アドバイザー	助産師1名
12月19日	主任介護支援専門員更新研修 講師	主任ケアマネ1名
平成31年 1月17日	福島県介護支援専門員実務研修 講師	主任ケアマネ1名
1月22日	平成30年度全国高等学校総合体育大会 スピードスケート 救護班	看護師1名
3月24日	介護サービス担当者のためのストーマケア講習 会 講師	皮膚排泄ケア認定看護師1名

(救急蘇生講習会への講師派遣)

平成30年度 6月4日	郡山市立御館中学校	医師3名
6月5日	郡山市立郡山第一中学校 (7日)	看護師4名
6月6日	郡山市立行健中学校	看護師2名
6月22日	郡山市立郡山第三中学校	看護師2名
6月25日	郡山市立高瀬中学校	看護師1名
6月26日	郡山市立明健中学校	看護師2名
6月28日	郡山市立郡山第五中学校	看護師2名
7月4日	郡山市立三穂田中学校	医師3名
8月29日	郡山市立安積第二中学校	看護師2名
9月11日	郡山市立富田中学校	医師3名
9月12日	郡山市立郡山第二中学校	看護師2名
9月19日	郡山市立大槻中学校	医師3名

10月 23日	郡山市立郡山第七中学校	看護師 2名
11月 7日	郡山市立緑ヶ丘中学校	看護師 1名

- ⑮ ボランティア育成運営委員会により、ボランティア育成講座及び実習を開催し、ボランティアの積極的な受け入れを行った。

(ボランティア育成運営委員会)

寿泉堂総合病院 11回

寿泉堂香久山病院 9回

(ボランティア育成講座)

寿泉堂総合病院 平成30年6月19日 5名受講

- ⑯ 地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

平成30年 4月 15日	ふくしま視能訓練士の会 第1回役員会 ふくしま視能訓練士の会
5月 29日	寿泉堂 Open seminar アステラス製薬株式会社
7月 20日	第26回郡山血管造影・IVR研究会 郡山血管造影・IVR研究会
7月 21日	ふくしま認定看護管理者ネットワーク交流会 ふくしま認定看護管理者ネットワークの会
8月 4日	第11回福島県大腸肛門疾患フォーラム 福島県大腸肛門疾患フォーラム
9月 21日	所属ホスピタルサービス研究会 (株)ローズ・ビルサービス
9月 29日	第18回福島県立医科大学脳神経外科同門症例検討会 福島医大脳神経外科同門会
11月 12日	足といのちを救う会 第一三共株式会社
11月 13日	スポーツ現場における歯科的応急措置講習会 日本体育協会認定スポーツデンティスト
11月 28日	第6回県南MRI技術研究会 県南MRI技術研究会
平成31年 1月 26日	ふくしま認定看護管理者ネットワーク総会 ふくしま認定看護管理者ネットワークの会
2月 4日	スポーツ現場における歯科的応急措置講習会 日本体育協会認定スポーツデンティスト

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

① 研究助成・事業援助の状況

(ア) 関連大学へ研究助成 25件 38,700,000円

(イ) 関連各種学会へ事業援助	7 件	1,185,000 円
(ウ) 地域への事業援助	42 件	966,586 円

② 臨床研修医の受入状況

(ア) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

マッチングによる 2 年間の研修（医科） 1 年次 6 名 2 年次 6 名

マッチングによる 1 年間の研修（歯科） 1 名

(イ) 福島県立医科大学附属病院の協力型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

研修医 2 年次 2 名

研修期間 平成 30 年 5 月 1 日～7 月 31 日

研修期間 平成 30 年 12 月 1 日～12 月 31 日

研修科目 眼科

③ 看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	89 名
	福島県立総合衛生学院	18 名
	郡山看護専門学校	123 名
	ポラリス保健看護学院	8 名
	国際医療看護福祉大学校	3 名
薬学生	奥羽大学	3 名
	城西大学薬学部	1 名
	東北医科薬科大学	2 名
リハビリテーション科学生	国際医療看護福祉大学校	2 名
	つくば国際大学	1 名
	仙台青葉学院短期大学	3 名
臨床工学士学生	国際医療看護福祉大学校	2 名
栄養士学生	郡山女子大学	7 名
	郡山女子大学短期大学	7 名
	会津大学短期大学	1 名
	桜の聖母短期大学	1 名
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	35 名
視能訓練士学生	新潟医療技術専門学校	1 名
	仙台医健専門学校	1 名
事務関係	国際医療福祉大学	2 名
透析療法従事者研修	公益財団法人日本腎臓財団	1 名

地域福祉連携実務研修	日本医療マネジメント学会	2名
介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	2名
在宅医療人材育成研修	福島県看護協会	2名

④ 看護インターンシップ受入状況

実習内容	人数
福島県立医科大学	2名
東京工科大学	1名
城西国際大学	1名
日本医療科学大学	1名
国際医療福祉大学	3名
千葉県立保健医療大学	1名
新潟医療福祉大学	1名
新潟青陵大学	2名
東京家政大学	1名
群馬医療福祉大学	1名
了徳寺大学	1名
東都医療大学	1名
太田看護専門学校	3名
公立岩瀬病院附属看護学院	15名
福島病院附属看護学校	3名
福島東稜高等学校看護専攻科	2名
ポラリス保健看護学院	6名
相馬看護専門学校	1名

⑤ 消防署救急医療実習受入状況

実習内容	人数
郡山地方広域消防組合・救急隊員病院研修	9名

⑥ 一般の実習受入状況

実習内容	人数
高校生看護体験	6名

福島県立郡山商業高等学校高齢者とのふれあい体験学習	277名
福島県立清陵情報高等学校ジュニアインターンシップ	3名
福島県立湖南高等学校ジュニアインターンシップ	3名
福島県立郡山高等学校 高校生1日看護体験	4名
福島県立須賀川桐陽高等学校 高校生2日看護体験	1名
福島県立郡山商業高等学校 高校生3日看護体験	1名
学校法人石川高等学校職場訪問	1名
郡山市立郡山第四中学校職場訪問	2名
郡山市立郡山第五中学校職場訪問	4名
郡山市立緑ヶ丘中学校職場訪問	3名

⑦ 研究事業

(ア) 学会発表演題数 (診療部)	45題
(イ) 剖検数	2体
(ウ) 治験薬施用承認件数	7件

⑧ 研修事業

(ア) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護	地域包括
診療部	—	247名	15名	49名	—	—	—
看護部	3名	163名	91名	85名	10名	4名	7名
診療支援部	—	81名	23名	37名	—	—	—
事務部	6名	134名	25名	15名	—	—	—
その他	—	21名	—	—	—	—	—
合計	9名	646名	154名	186名	10名	4名	7名

(イ) 教育研修等

(法人)

平成30年 7月 7日	職員接遇研修会	83名参加
11月 20日	第26回寿泉堂病院学会	155名参加
12月 3日	新入職員フォローアップ研修会	60名参加
平成31年 3月 18日	平成31年度採用前職員オリエンテーション(～20日)	46名参加
(寿泉堂総合病院)		
平成30年 10月 9日	平成30年度クリニカルパス検討会	93名参加

12月17日	「医療被曝」「MRI検査におけるチェック事項」	54名参加
12月13日	保険診療に関する研修会 「薬剤師と保険診療について」	150名参加
12月26日	「CT造影検査」「放射線治療とは」	46名参加
平成31年 3月26日	保険診療に関する研修会 (27日～28日) 「医療費助成制度について」	268名参加

(寿泉堂香久山病院)

平成30年 4月4日	接遇全職種対象研修	18名参加
8月23日	NST研修会 「栄養管理の必要性とNSTについて」	44名参加
8月27日	口腔ケアについて	35名参加
10月26日	接遇研修 (11月29日、12月20日)	167名参加
11月17日	県中回復期リハビリ病棟4病院協議会 第2回学術講演会 各医療機関より	150名参加
12月3日	BLS研修会 (4日～13日)	193名参加
平成31年 1月18日	身体抑制について (25日、30日)	208名参加
2月7日	院内研究発表会	52名参加
3月14日	個人情報研修	29名参加
3月22日	認知症薬についての研修	36名参加

(寿泉堂クリニック)

平成30年 9月11日	接遇研修会「患者さんのためによりケア・対応をするために」	56名参加
平成31年 1月31日	接遇研修会「言いにくいことをスムーズに伝える」	34名参加
3月28日	透析センター講演会 「エコー化穿刺 総論、同～各論」	22名参加

(ウ) 海外研修

アメリカ合衆国 (ホノルル地区) 病院視察 平成30年6月3日～6月8日 6日間 派遣人数：3名 和泉直美、藁谷千代子、田邊しげみ
オーストラリア (シドニー、ゴールドコースト) 病院視察 平成30年6月3日～6月8日 6日間 派遣人数：3名 堀川広明、安田正雄、矢部明義

7. 設備改修工事等報告

平成 30 年度に実施した工事は、以下の通りである。

(本部)

- ・パッケージエアコン更新工事 (法人事務局)

(寿泉堂総合病院)

- ・パッケージエアコン増設工事 (中央材料室)
- ・ガスヒートポンプエアコン室外機修理 (1 階、8 階、9 階、11 階)
- ・1 階放射線科診察室改修工事
- ・5 階医局改修工事

(寿泉堂香久山病院)

- ・厨房入口風除室設置工事
- ・西館屋上防水工事 (2 階、4 階)
- ・西館エレベーター耐震工事

(寿泉堂クリニック)

- ・院内 LAN 整備工事 (再構築)

8. 労使関係報告

(1) 平成 30 年 5 月 1 日開催の労使協議会において、平成 30 年度の給与改定及び以下の項目について妥結した。

昇給率 2.02% 昇給額 3,876 円 (標準 5 号の定期昇給)

労働条件

(2) 平成 30 年 5 月 1 日開催の労使協議会において、平成 30 年度の上期賞与の支給率について妥結した。

(基本給+調整手当 4,000 円) × (基準賞与 1.5ヶ月+業績賞与 0.9ヶ月)

(3) 平成 30 年 11 月 1 日から、寿泉堂総合病院 11 階病棟の体制を一部変更した。

- ・透析準備のため、担当看護師 1 名の早出勤務開始 (月・水・金)。
- ・看護師の長日勤について、火～金曜日は 1 名増員。
- ・看護補助者の遅出勤務について、月曜日は 1 名増員、火～金曜日は中止。

(4) 平成 30 年 11 月 13 日開催の労使協議会において、平成 30 年度下期賞与の支給率について妥結した。

(基本給+調整手当 4,000 円) × (基準賞与 2.0ヶ月+業績賞与 0.4ヶ月)

(5) 平成 31 年 1 月 4 日付協定書

本年 5 月 1 日が即位の日となり、前後の日を含め長期となるゴールデンウィーク期間中の通常診療について次の通りとし相互が了解した。

2019 年 5 月 2 日 (木) 1 日通常診療

2019 年 5 月 3 日 (金) 1 日通常診療

2019 年 5 月 4 日 (土) 半日通常診療

勤務者は業務に支障のないよう振替休日を取得する。

(6) 平成 31 年 4 月 1 日からの休日・時間外労働(36 協定)に関する労使協定を行った。

(7) 労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

9. 庶務事項報告

(1) 平成 31 年 3 月 31 日現在の職員数は次の通りである。 (単位：人)

	医師		看護師・准看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
本部			1				13	1			14	1
寿泉堂	61	86	246	25	101	1	78	3	48	1	534	116
香久山	6	12	89	3	40	1	16	1	72	8	223	25
クリニック	4	9	32	2	9	2	14	1	4		63	14
いずみ訪問			6	1							6	1
包括支援			5				1				6	
居宅介護			4				1		1		6	
計	71	107	383	31	150	4	123	6	125	9	852	157

※休職者除く

(2) EY 新日本有限責任監査法人による法定監査を受けた。

(3) 当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院 OB 会「寿友会」の運営に協力した。

(4) 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力の高揚を目的に、衛生委員会（昭和 55 年 1 月制定）を 12 回開催した。

(5) 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を以下の通り開催した。

(医療安全管理委員会、医療安全対策委員会)

寿泉堂総合病院 24 回

寿泉堂香久山病院 12 回

寿泉堂クリニック 6 回

(医療安全管理研修会)

平成 30 年 4 月 4 日	平成 30 年度新採用者医療安全研修会	78 名参加
5 月 16 日	医療安全管理研修会 「身体抑制について」	148 名参加
5 月 17 日	人工呼吸器勉強会（24 日、28 日、31 日、6 月 5 日、19 日、7 月 3 日、10 日、17 日）	103 名参加
5 月 28 日	新採用者薬剤に関する研修会 「注射薬でよくあるインシデント事例」	39 名参加
5 月 29 日	医薬品安全研修 (寿泉堂香久山病院)	37 名参加
6 月 13 日	新採用者 KYT 研修会	34 名参加

6月20日	医療安全管理研修会（7月2日、9日～10日、8月13日、15日、29日） 「事例からの振り返り」	521名参加
6月22日	医療安全研修会（7月13日、12月11日） 「KYT」	100名参加
10月10日	医療安全研修会（17日、31日） 「インシデントレポート KYT」	寿泉堂香久山病院 206名参加
10月29日	医療安全管理研修会（30日、11月13日～14日） 「医療事故調査制度－3年が経過して」	407名参加
11月27日	医療安全研修（29日、1月7日、3月4日、8日）	161名参加
平成31年 1月28日	医療安全管理研修会（30日、2月12日～13日） 「事例からの振り返り」	293名参加
3月19日	新入職員採用前研修会 「医療安全について」	46名参加

- (6) 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会（平成4年4月制定）を12回開催し、職員研修会を以下の通り開催した。

（感染対策研修会）

平成30年 4月 4日	新採用者感染対策室研修会（6日）	74名参加
5月31日	院内感染対策委員会研修会（6月13日） 「環境と感染リスク」	85名参加
6月25日	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（～27日、29日）	534名参加
7月 5日	感染対策研修会（9日、27日） 「うちにも CRE がやってくるかも」	寿泉堂香久山病院 234名参加
9月20日	清掃員対象ミニ感染対策研修会（～21日）	寿泉堂香久山病院 11名参加
10月15日	冬に流行するウイルス疾患について（～17日、19日）	474名参加
10月31日	抗菌薬適正使用に関する事例報告（～11月2日、1月10日～11日、17日）	308名参加
11月 9日	感染対策研修会（12日、21日） 「冬場のインフルエンザ・ノロウイルス」	寿泉堂香久山病院 211名参加

- (7) 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂総合病院	平成31年 3月 4日
寿泉堂香久山病院	平成31年 3月 26日
寿泉堂クリニック	平成30年 5月 21日

（取扱講習会）

寿泉堂総合病院	平成30年 4月 3日
---------	-------------

寿泉堂香久山病院 平成 30 年 8 月 2 日
 寿泉堂クリニック 平成 30 年 6 月 5 日
 平成 30 年 12 月 18 日

(8) 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、透析機器安全委員会を次の通り開催した。

(委員会)

寿泉堂クリニック 平成 30 年 4 月 11 日

(医療機器取扱研修会)

寿泉堂クリニック

平成 30 年 4 月 24 日	LDL アフェレーシス療法について	20 名参加
9 月 11 日	ヘモダイアフィルターFX HDF について	21 名参加

(9) 防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院 平成 30 年 6 月 25 日 (防災訓練)
 10 月 30 日 (総合訓練)
 寿泉堂香久山病院 平成 30 年 6 月 28 日 (総合訓練)
 11 月 29 日 (総合訓練)
 寿泉堂クリニック 平成 30 年 5 月 29 日 (総合訓練)
 7 月 20 日 (透析センター 福島県透析連絡会議主催
 災害時情報伝達訓練参加)
 8 月 31 日 (透析センター 福島県透析連絡会議主催
 MCA 無線使用災害時情報伝達訓練参加)
 10 月 23 日 (総合訓練)
 平成 31 年 3 月 11 日 (透析センター 福島県透析連絡会議主催
 災害時情報伝達訓練参加)
 附属さくら保育園 毎月第 3 木曜日

(10) 平成 30 年度の当法人並びに職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

平成 30 年 5 月 3 日	ベトナム社会主義共和国 両国間関係の強化、発展に尽力した功績 寿泉堂クリニック 名誉院長 白岩康夫
5 月 12 日	平成 30 年度福島県看護功労者表彰式 知事感謝状 荒川トミ、木滑志津子 看護団体活動功労者 佐藤恵子
7 月 28 日	日本栄養士会 国民栄養改善の進展に尽力 吉田仁子、渋川美代子
10 月 17 日	平成 30 年度健康ふくしま 21 推進県民表彰式 優良看護師 石井玲子、景山ゆり子、添田加寿子
11 月 27 日	平成 30 年度郡山地区産業安全衛生大会 衛生優良従業員 笠原智恵、矢吹洋子、佐久間栄子

11月29日	平成30年度郡山地区公衆衛生大会 優良看護師 松本みゆき、相楽信子、橋本愛子 国分ひとみ
平成31年2月6日	紺綬褒章受章 公益財団法人湯浅報恩会 公益のため長年にわたり福島県立医科大学の学術奨励金を 助成している功績による。

10. 主要記事

平成30年	4月2日	新入職員入社式並びに辞令交付式	
	4月5日	ISO 統合一次審査	(寿泉堂香久山病院)
	4月12日	ふれあいコンサート開催 (5月17日、6月4日、7月19日、8月20日、9月13日、10月18日、11月28日)	(寿泉堂香久山病院)
	4月18日	うららかフルーツコンサート開催 (6月6日、9月5日、11月21日)	(寿泉堂総合病院)
	5月12日	JHQC 現地調査 (~13日)	(寿泉堂総合病院)
	6月5日	ISO 統合二次審査 (~6日)	(寿泉堂香久山病院)
	6月9日	平成31年3月に卒業する看護学生を対象に「病院説明会」開催 (7月28日)	
	7月23日	JHQC 「Aクラス認証」取得	(寿泉堂総合病院)
	8月20日	平成30年度永年勤続者表彰式開催 40年勤続表彰 1名 30年勤続表彰 4名 20年勤続表彰 13名 10年勤続表彰 29名	
	8月25日	JHQC フィードバック会議	(寿泉堂総合病院)
	9月5日	職員満足度向上を目的とし職場毎に J-Café を開催 (~12/21 59部署)	(寿泉堂総合病院)
	9月8日	秋祭り開催	(寿泉堂香久山病院)
	10月3日	第48回郡山地区自衛消防操法大会出場	
	10月5日	郡山市保健所による平成30年度病院立入検査	(寿泉堂香久山病院)
	10月13日	附属さくら保育園遠足 (福島空港)	
	10月28日	第9回寿泉堂病院ゴルフ大会開催	(寿泉堂総合病院)
	11月9日	郡山市保健所による平成30年度病院立入検査	(寿泉堂総合病院)
	11月27日	長期透析患者表彰式開催 受賞者4名	(寿泉堂クリニック)
	12月5日	クリスマス会並びにキャンドルサービスを実施	(寿泉堂香久山病院)
	12月19日	吹奏楽演奏会並びにキャンドルサービスを実施	(寿泉堂総合病院)

	12月 20日	附属さくら保育園クリスマス会開催	
	12月 21日	郡山市による平成30年度認可外保育所施設立入調査	
平成31年	2月 2日	ボランティア新年交流会開催	(附属さくら保育園) (寿泉堂総合病院)
	3月 12日	日本医療機能評価機構による訪問審査(～13日)	(寿泉堂総合病院)
	3月 16日	附属さくら保育園卒園式開催	
	3月 25日	平成30年度医師・歯科医師臨床研修修了式開催	(寿泉堂総合病院)
	3月 25日	定年退職者特別表彰式開催	